

やる気 やさしさ えがお あられる相知小

令和2年9月4日(金) 文責：大石 文枝



生活のリズムを整えて生活します

8・9月の生活の目標は、右記に書いていますように「生活のリズムを整えよう」です。夏休みは、例年に比べて短くはあったのですが、2学期の最初は、学校としては生活のリズムを整えるところからスタートします。

まずは、「か・つ・お」の約束。1時間の授業が終わって次の授業が始まる間の10分間にやることの約束が「か・つ・お」です。

「か：片付け つ：次の準備 お：お茶とおトイレ」です。これがいくと心にも余裕が生まれ、授業にも集中できる体制が整います。子供たちは、2学期が始まり、連日暑い日が続いています。子どももよく頑張っています。担任の先生の話をしかりと聴き、めあてにそって自分で考え、それをクラスの中で発表し合うことで、さらに自分の考えを広げたり深めたりしています。暑い中でも集中力を切らさず、学習に取り組み子供たちの頑張りに拍手を送ります。

挨拶運動実施中


2学期の挨拶運動を始めました。学校は、6年生のクラスから取り組んでいます。また、唐津東商工会の皆さんも、朝早くから学校の挨拶運動に来てくださいました。いつも新学期のスタートに合わせてきてくださいます。地域の皆様を支えられている学校です。ありがとうございます。

※裏面に新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けた文部科学大臣メッセージを掲載しています。差別や偏見につながらないよう学校でもしっかりと取り組んでいきます。ご一読ください。

◇担任以外の職員の自己紹介コーナー◇～級外編～

教頭 岩崎 裕教

今年で相知小は3年目に
なりました。育友会関係
では特にお世話にな
ります。よろしくお願ひし
可。

相知小5年目の吉田です。
級外で教務主任を
しています。趣味は、ギタ
ー、釣り、かん栽培、スポッ
クいろいろです。よろしくお
願ひします!! 

級外 香島 光晴
生活指導を担当しています。
今年で相知小七期。長く
はりました。この学校の好き
なポイントはいくつか。
いろいろクラスにいて
たさんの子どもたちと顔
見知りになってきています。
今後ともよろしくお願ひします



自分の考えを積極的に発表する3年



唐津東商工会様による挨拶運動

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思っております。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一